

## ●調査レポート

### 第75回 埼玉県内企業経営動向調査－2011年4～6月期－

調査対象：県内企業 571社                      調査方法：アンケート方式（5月上旬 郵送回収）  
 回答企業：294社（回答率 51.5%）          業種別内訳：製造業 179社      非製造業 115社  
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

#### <概況>

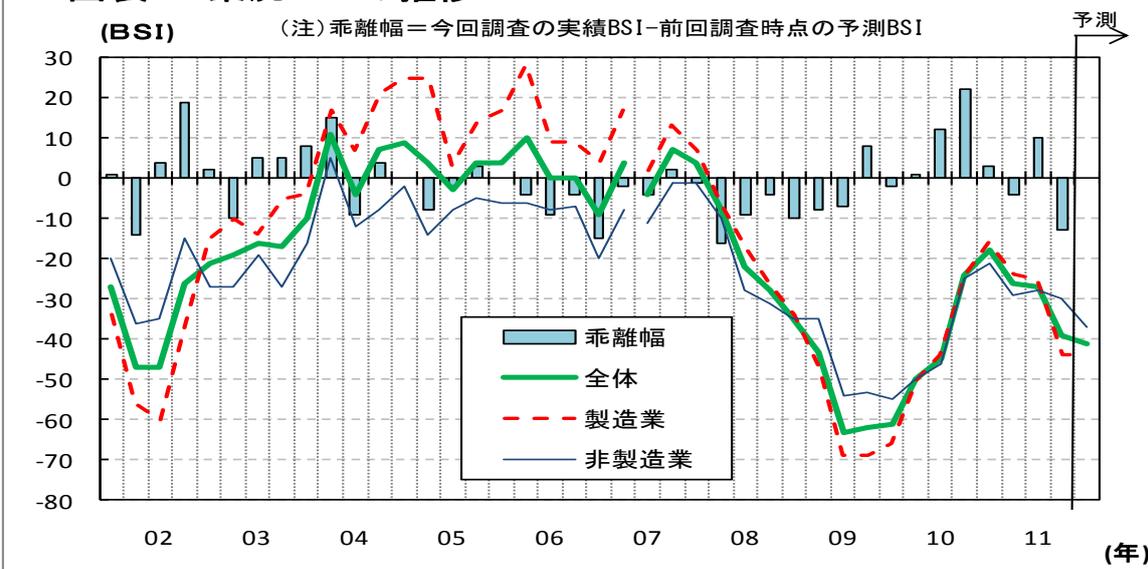
県内企業の業況感は東日本大震災の影響から大幅に後退している。業況判断BSIは-39と、前回(1～3月期)に比べ12ポイント低下した。

今回調査の特徴を規模別にみると、前回に比べ「規模の小さい企業」（従業員100人未満）は2ポイント低下、「規模の大きい企業」（従業員100人以上）は23ポイント低下、規模の大きい企業で業況が急激に悪化している。

業種別にみると、大震災の影響を受けて、製造業は、部品や原材料の調達難、計画停電による生産活動の制約などにより、加工組立型を中心にほとんどの業種で業況感が悪化している。非製造業は、商品の供給不足、自粛ムード等による消費マインドの悪化から、卸売、小売などで、業況感が後退している。

先行き(7～9月期)については、調査時点での夏場の電力供給の不透明感が企業経営に及ぼす心理的影響は否めないこともあり、業況判断BSIは-41と厳しい見通しとなっている。業種別にみると、製造業では、サプライチェーンが復旧に向かう中、部品や原材料の調達難の影響は和らぐことが期待されているものの、電力供給制約による不安定な操業見通しなどから慎重な見方が続く。非製造業は消費マインドが緩やかに回復していくことが期待されるものの、生産活動の低迷による雇用・所得環境への影響が懸念され、業況感が幾分後退する見通しとなっている。

図表1. 業況BSIの推移



(注)2007年1～3月期調査から調査対象企業の見直しを行ったことから、2006年10～12月期以前と2007年1～3月期以降の数値は連続しない。

1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～大幅に後退～

今回調査の業況判断 BSI は、前回調査比 12 ポイント低下の-39 となっており、東日本大震災の影響から大幅に後退している。

規模別にみると、規模の大きい企業は、BSI の低下幅が規模の小さい企業に比べ大きくなっている。業種別にみると、製造業では、加工組立型を中心にほとんどの業種で業況感が悪化している。非製造業は、卸売、小売などで業況感が後退している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2009年	2010年				2011年			2011年 7～9月 (先行き)
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	前回予想	
<b>全体</b>	-50	-45	-24	-18	-26	-27	-39	-26	-41
100人未満	-54	-52	-28	-32	-37	-34	-36	-26	-40
100人以上	-46	-37	-19	-3	-13	-19	-42	-25	-43
<b>製造業</b>	-51	-44	-24	-16	-24	-25	-44	-29	-44
100人未満	-51	-49	-24	-30	-34	-29	-39	-26	-38
100人以上	-50	-38	-23	1	-12	-21	-50	-31	-50
<b>素材型</b>	-39	-35	-21	-28	-21	-23	-43	-28	-39
パルプ・紙・紙加工品	-20	-44	-9	-29	-38	-31	-50	-31	-29
化学・石油製品・ プラスチック・ゴム製品	-19	-40	-27	-23	0	-31	-36	-15	-14
鉄鋼・非鉄金属	-85	-45	-25	-15	-25	-50	-46	-50	-58
金属製品	-17	0	14	-18	-7	15	-33	8	-58
その他素材型	-53	-54	-53	-44	-29	-18	-47	-44	-41
<b>加工組立型</b>	-63	-55	-22	-2	-24	-23	-45	-26	-43
一般機械器具	-62	-72	-53	-21	-31	-17	-24	-33	-25
電気・情報通信機械器具	-50	-60	-23	-8	-33	-41	-79	-38	-79
電子部品・デバイス	-86	-67	-11	10	8	-23	-54	0	-8
輸送用機械	-55	-31	8	0	-36	-36	-62	-29	-69
精密機械	-73	-29	-18	14	-25	8	-21	-25	-43
<b>生活関連型</b>	-53	-46	-39	-23	-32	-41	-50	-46	-60
飲・食料品	-25	-33	-23	8	-14	-23	-38	-17	-54
印刷・同関連業	-100	-67	-60	-67	-55	-57	-62	-71	-67
<b>その他製造業</b>	-33	-13	-14	0	-14	-14	-29	0	-43
<b>非製造業</b>	-50	-46	-25	-21	-29	-28	-30	-22	-37
100人未満	-58	-57	-33	-34	-41	-41	-30	-27	-42
100人以上	-39	-34	-15	-8	-15	-15	-30	-16	-33
一般建設	-55	-68	-52	-52	-64	-50	-39	-59	-53
住宅建設	-25	9	18	9	36	-14	-8	7	-31
卸 売	-69	-47	-42	-25	-39	-16	-33	-5	-19
小 売	-65	-45	-19	0	-44	-28	-38	-22	-48
運輸・倉庫	-38	-53	-13	-25	0	-25	-17	-18	-50
不動産	-33	-38	-20	0	-33	-54	-23	-23	-23
その他非製造業	-41	-45	-17	-27	-17	-11	-39	-17	-33

2010年10～12月期から素材型の「繊維・衣服・その他の繊維」、「木材・木製品・家具」、「窯業・土石」を統合し、「その他素材型」とした。また、「建設」の業種名については、「住宅建設」と明確に区別するため、「一般建設」に変更した。

## 2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でほとんどの業種が低下～

製造業では、納入先被災による出荷停止などから売上高が激減するなどの理由で、素材型が前回調査 -24→今回調査 -50(以下同じ)、加工組立型が -3 → -26 とともに低下している。非製造業では、大震災の影響で新車の入荷不能となった自動車販売を中心に小売が 20 → -20 と大幅に低下している。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 10年10～12月期	(前回調査) 11年1～3月期	(今回調査) 11年4～6月期	(先行き) 11年7～9月期
全体	4	-15	-31	-6
製造業	6	-20	-36	-2
非製造業	2	-9	-22	-11
規模の小さい企業	-2	-21	-31	-9
規模の大きい企業	11	-9	-30	-1

## 3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～業種、規模を問わず低下～

売上（生産）高が減少したことから、製造業では素材型が -37 → -49、加工組立型が -3 → -29 と低下している。非製造業では卸売、小売などが低下している。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 10年10～12月期	(前回調査) 11年1～3月期	(今回調査) 11年4～6月期	(先行き) 11年7～9月期
全体	-4	-19	-36	-15
製造業	-1	-23	-37	-15
非製造業	-8	-14	-33	-15
規模の小さい企業	-9	-26	-35	-21
規模の大きい企業	2	-11	-36	-8

## 4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～規模の大きい製造業を中心に大きく低下～

製造業では、大震災の影響による原材料・部品等の調達難などから一時的に供給側の制約で輸出が急減し、素材型が 16 → -10、加工組立型が 17 → -7 と急落している。先行きは、原材料・部品等の調達難の影響が和らぎ供給側の制約も徐々に解消されることなどから輸出が持ち直し、加工組立型が 14 と上昇に転じる見通しとなっている。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 10年10～12月期	(前回調査) 11年1～3月期	(今回調査) 11年4～6月期	(先行き) 11年7～9月期
全体	2	13	-5	5
製造業	2	18	-8	5
非製造業	0	-2	6	6
規模の小さい企業	-7	7	-1	2
規模の大きい企業	11	19	-9	8

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～総じて横ばい～

過剰感はほぼ前回調査と変わらず、先行きは非製造業で不足感が増す見込みとなっている。

図表 6 生産（販売）設備 BSI

	(前々回調査) 10年10～12月期	(前回調査) 11年1～3月期	(今回調査) 11年4～6月期	(先行き) 11年7～9月期
全体	7	6	5	3
製造業	13	8	8	6
非製造業	-2	1	1	-3
規模の小さい企業	5	3	1	-2
規模の大きい企業	10	8	9	8

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が強まる～

製造業は素材型や加工組立型で過剰感が強まり、非製造業では不足感が縮小している。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 10年10～12月期	(前回調査) 11年1～3月期	(今回調査) 11年4～6月期	(先行き) 11年7～9月期
全体	0	4	13	10
製造業	8	11	22	17
非製造業	-11	-7	-2	-2
規模の小さい企業	1	3	9	7
規模の大きい企業	-1	5	17	13

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～製造業で悪化～

非製造業に加え、今回、製造業も資金繰りが「苦しい」超に転じている。また、規模の小さい企業で厳しさが増している。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 10年10～12月期	(前回調査) 11年1～3月期	(今回調査) 11年4～6月期	(先行き) 11年7～9月期
全体	-4	-1	-5	-12
製造業	-1	4	-4	-11
非製造業	-9	-7	-8	-13
規模の小さい企業	-12	-4	-13	-20
規模の大きい企業	5	3	3	-2

(以上)